

## 「鉱物資源からみる交易と歴史」

### 第3弾

# 阿蘇のリモナイトと弥生製鉄の可能性 —阿蘇盆地出土の多量の弥生鉄器は何を語るのか—

【日時】 2019年7月6日(土) 14:00～16:00

【講師】 松井和幸(まついかずゆき)氏  
(北九州市立埋蔵文化財センター 次長)

【場所】 松楠居(しょうなんきょ)

<次回>

2019年8月18日(日) 14:00～16:00

「朱」から見える古代の風景  
—城野遺跡とまわりのクニグニ—

佐藤浩司氏(北九州市立埋蔵文化財センター)



主催：有限会社かたらね



松井和幸(まついかずゆき)氏

1955 年富山県生まれ。広島大学大学院文学研究科博士前期(考古学専攻)修了。博士(文学)。(財)広島県埋蔵文化財センター、北九州市立いのちのたび博物館歴史課長を経て、現在、北九州市立埋蔵文化財センター次長。

東アジアの前近代鉄文化を中心に研究し、特に近年は阿蘇リモナイトから弥生時代製鉄の可能性を模索している。

著書『日本古代の鉄文化』雄山閣出版 2001 年、編著『シンポジウム東アジアの古代鉄文化』雄山閣出版 2010 年 など